

名古屋市中央卸売市場

流通量推計調査報告書(第14回)

■ 調査の趣旨及び方法

この調査は、名古屋市中央卸売市場で取引される生鮮食料品等につき、供給先・供給量の状況を把握し市場運営の参考にするため、卸売業者・仲卸業者の協力を得て、調査票若しくは電子データにより回答いただいたものを集計した。

■ 調査対象者及び回収状況

名古屋市中央卸売市場本場、北部市場及び南部市場における下記の業者

▼卸売業者（青果・水産物・食肉） … 回収状況 100.0%

▼仲卸業者（青果・水産物） … 回収状況 100.0%

青果 本場 100.0%、北部市場 100.0%

水産物 本場 100.0%、北部市場 100.0%

■ 調査実施日（例年同時期に実施）

青果・水産物 令和6年9月12日（木）

食肉 令和6年9月2日（月）～13日（金）

■ 調査内容

▼供給地域（調査対象者が販売した相手方の営業所の所在地）

◇名古屋市・豊山町（名古屋市中央卸売市場の所在地）

◇愛知県（名古屋市・豊山町を除く）

◇岐阜県・三重県

◇中部6県（静岡県・長野県・滋賀県・福井県・石川県・富山県）

◇その他

▼供給先業種（調査対象者が販売した相手方の業種）

◇一般小売店（青果・鮮魚等専門小売店、売場面積250㎡未満の業者）

◇大型小売店（売場面積250㎡以上のスーパー、百貨店、生協）

◇大口需要者（給食業者、飲食業者）

◇問屋（卸売業者、仲買業者）

◇その他の事業者（加工業者など）

▼調査対象者が販売した品目とその数量

◇青果 野菜・果実

◇水産物 生鮮水産物・冷凍水産物・加工水産物

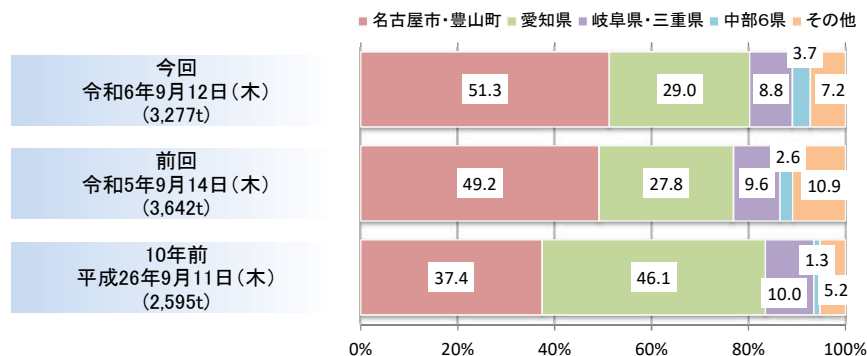
◇食肉 牛・豚

■ 報告書上の数字についての注意

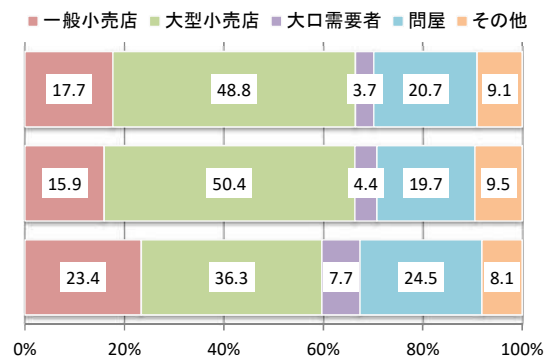
端数を四捨五入で処理しているため、パーセンテージの合計が100.0%にならないことなどがある。

青果(野菜・果実)の供給地域及び供給先業種

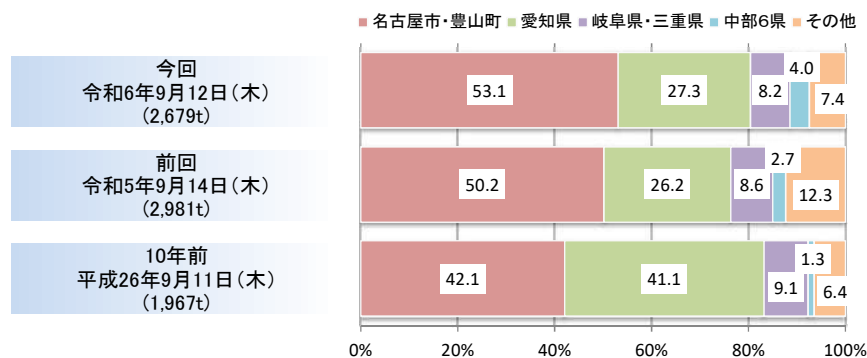
■ 青果の供給地域



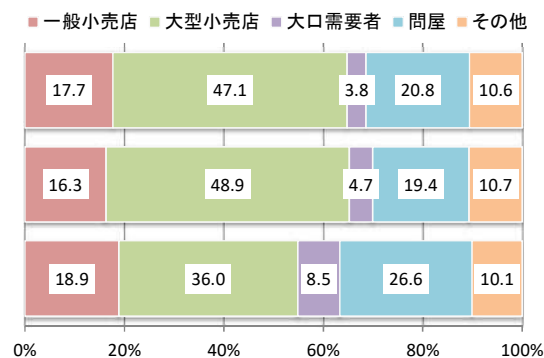
● 青果の供給先業種



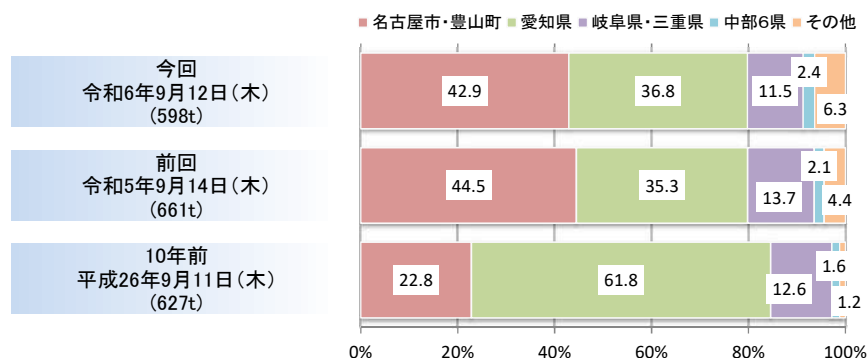
□ 野菜の供給地域



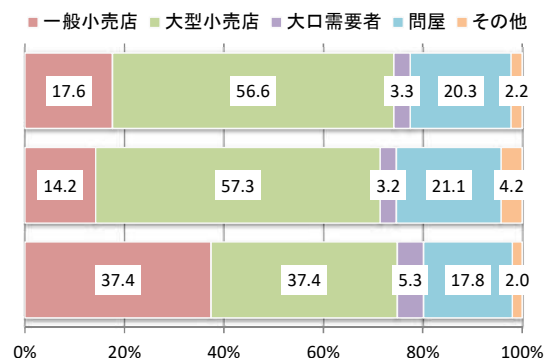
○ 野菜の供給先業種



□ 果実の供給地域



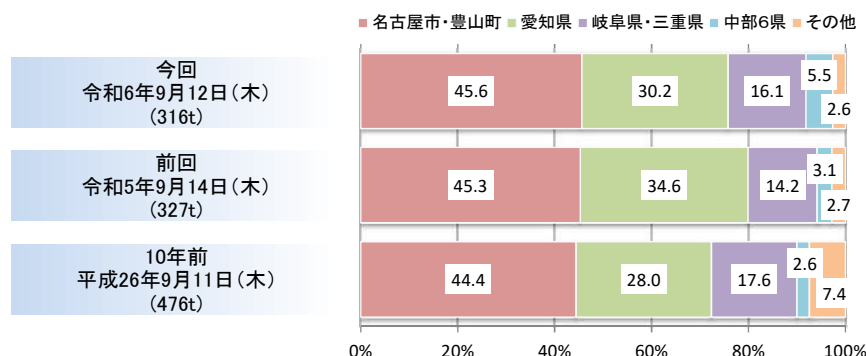
○ 果実の供給先業種



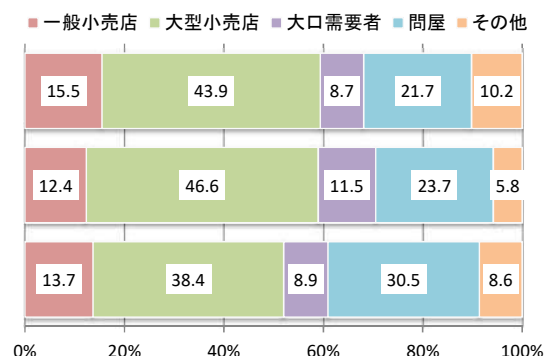
○青果の供給地域は、10年前も今回も名古屋市・豊山町および愛知県への供給が8割を超えている。10年前に比べて名古屋市・豊山町の割合が増えている。
○青果の供給先業種は、10年前に比べて大型小売店の割合が増えており、5割弱となっている。

水産物(生鮮・冷凍・加工)の供給地域及び供給先業種

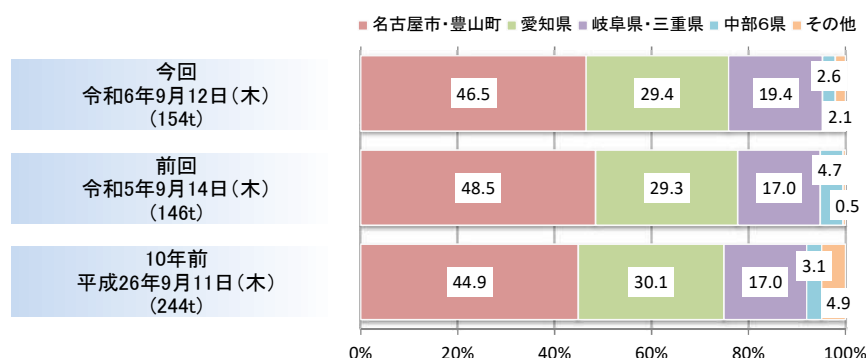
■ 水産物の供給地域



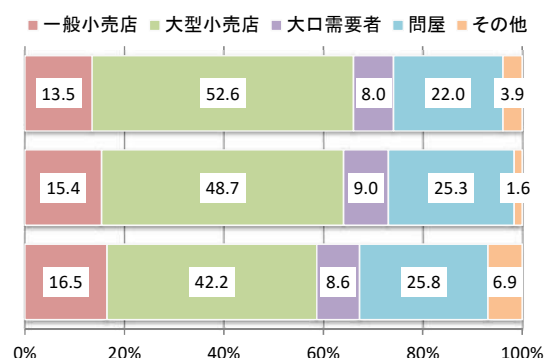
● 水産物の供給先業種



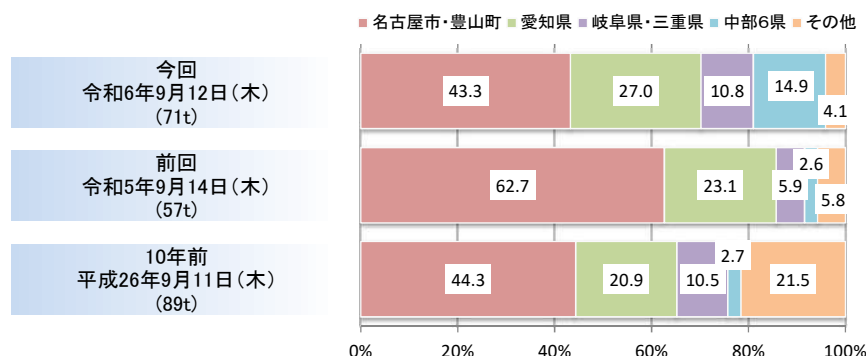
□ 生鮮水産物の供給地域



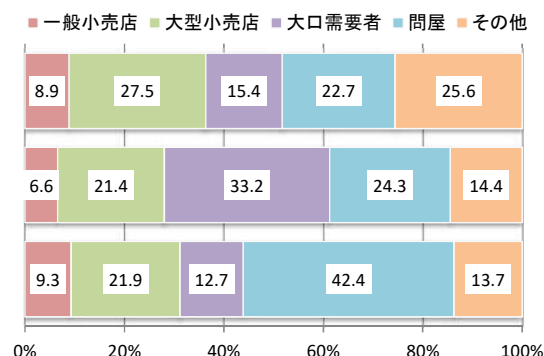
○ 生鮮水産物の供給先業種



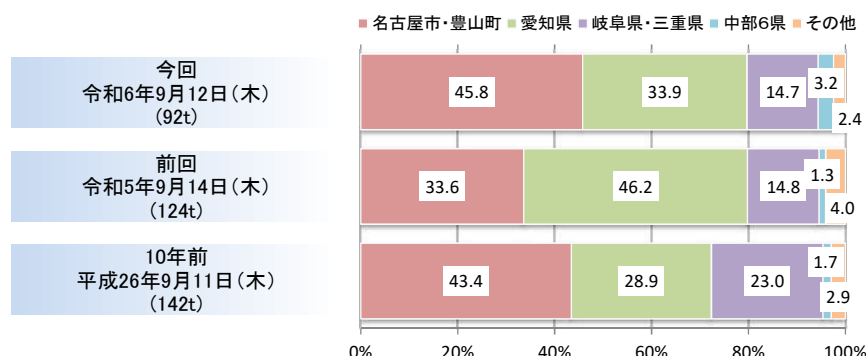
□ 冷凍水産物の供給地域



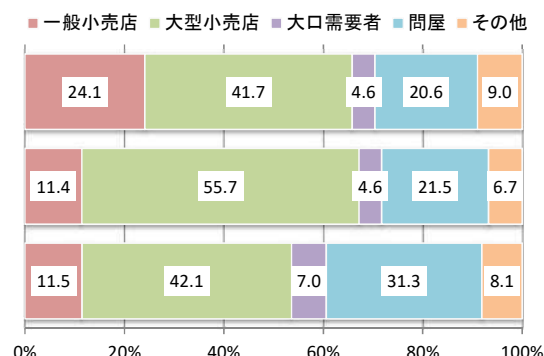
○ 冷凍水産物の供給先業種



□ 加工水産物の供給地域



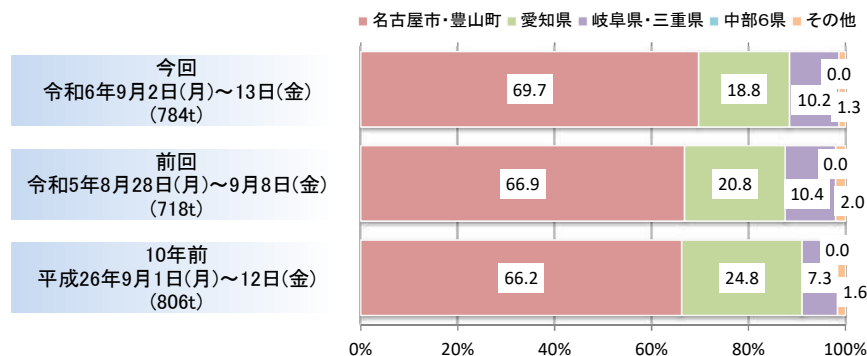
○ 加工水産物の供給先業種



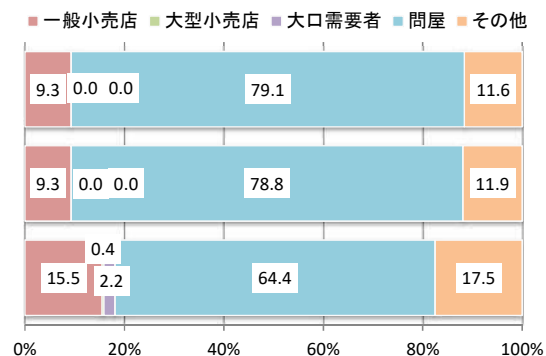
○水産物の供給地域は、10年前も今回も名古屋市・豊山町および愛知県への供給が7割を超えている。
○水産物の供給先業種は、10年前に比べて大型小売店の割合が増えている。

食肉(牛・豚)の供給地域及び供給先業種

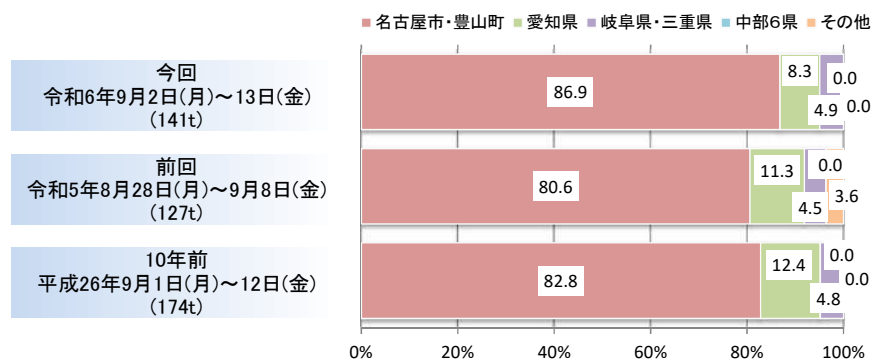
■ 食肉の供給地域



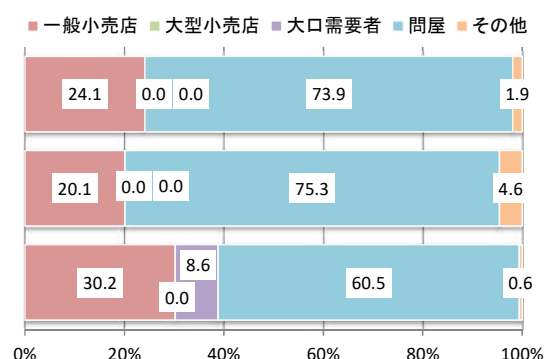
● 食肉の供給先業種



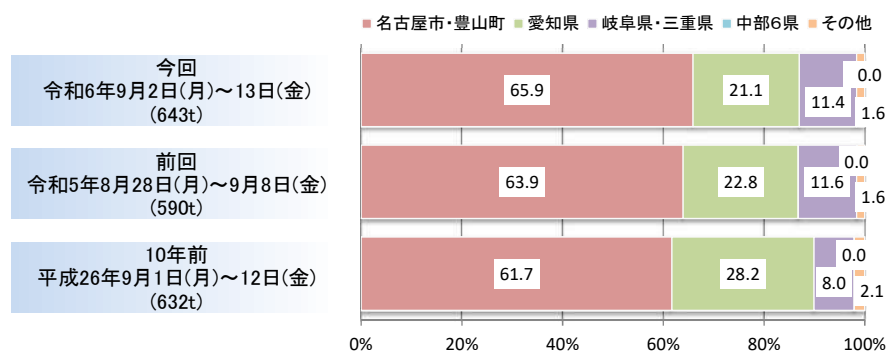
□ 牛の供給地域



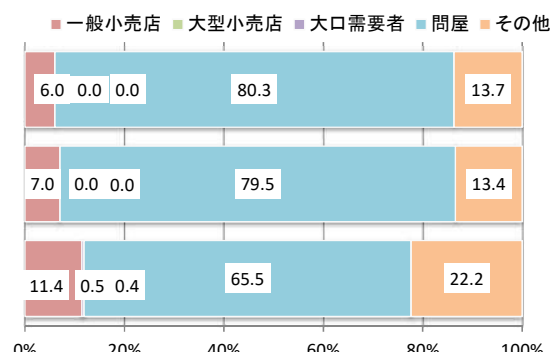
○ 牛の供給先業種



□ 豚の供給地域



○ 豚の供給先業種

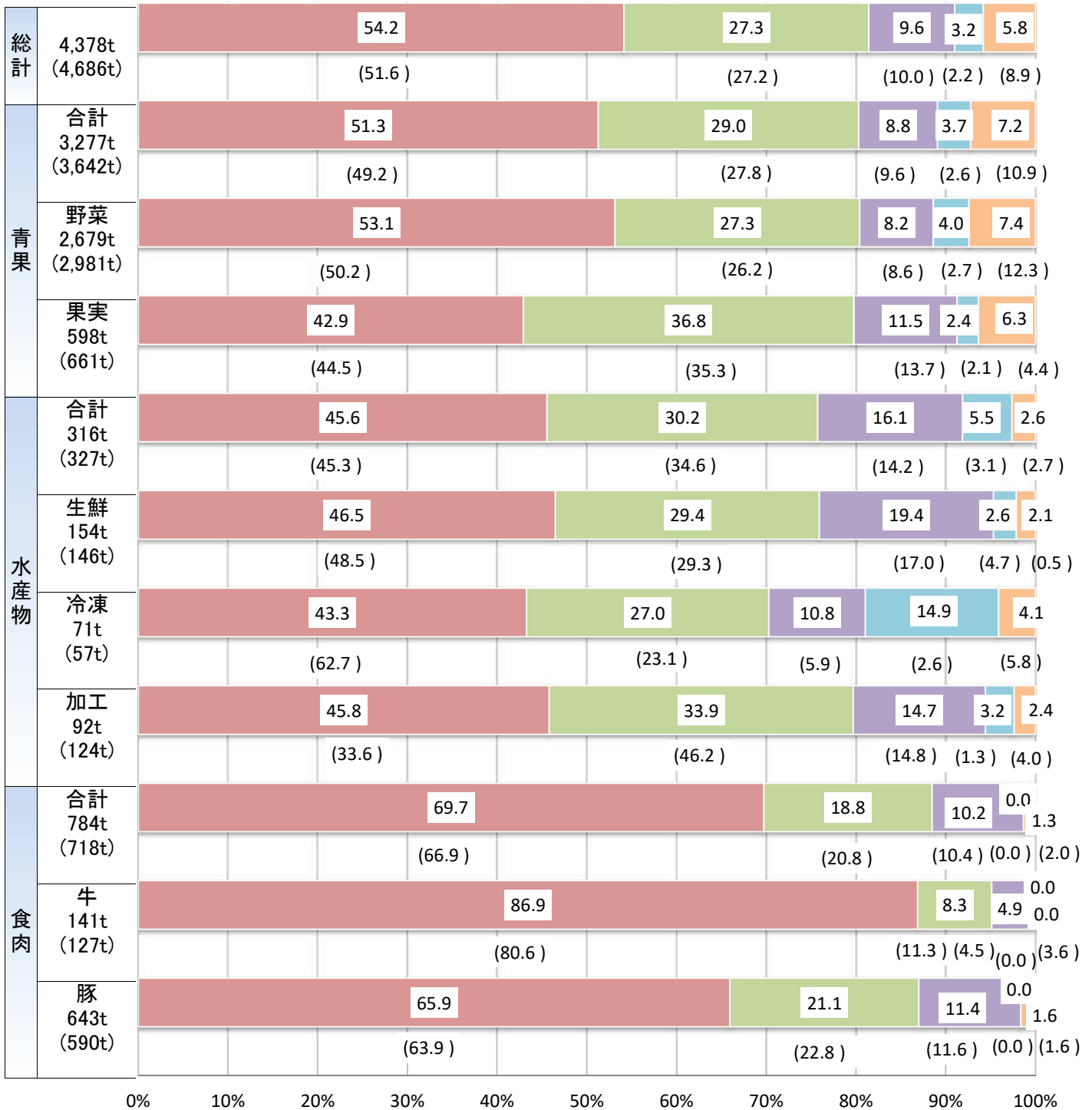


○食肉の供給地域は、10年前も今回も名古屋市・豊山町および愛知県への供給が9割弱となっている。

○食肉の供給先業種は、10年前と比べて問屋の割合が増えており、8割弱となっている。

品目別の供給地域の比較

■ 名古屋市・豊山町 ■ 愛知県 ■ 岐阜県・三重県 ■ 中部6県 ■ その他

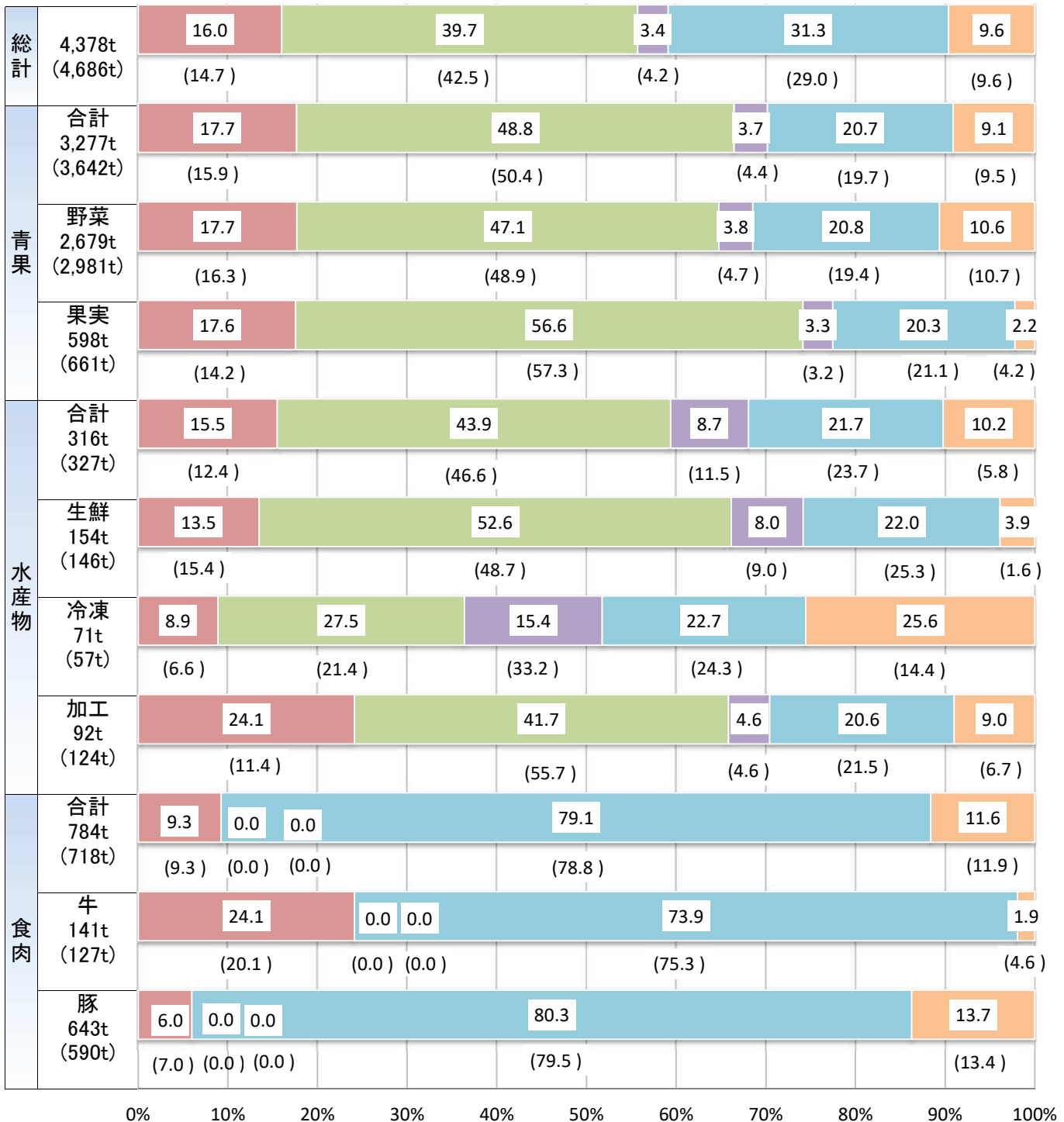


注: () 内数値は前回〔調査日: 青果・水産物 令和5年9月14日(木)、食肉 令和5年8月28日(月)～9月8日(金)〕

- 青果の供給先は、「名古屋市・豊山町」と「愛知県」で合わせて8割を超えている。
- 水産物の供給先は、「名古屋市・豊山町」と「愛知県」で合わせて8割弱となっている。
- 食肉の供給先は、「名古屋市・豊山町」の割合が高く、特に牛が9割弱となっており高くなっている。

品目別の供給先業種の比較

■ 一般小売店 ■ 大型小売店 ■ 大口需要者 ■ 問屋 ■ その他

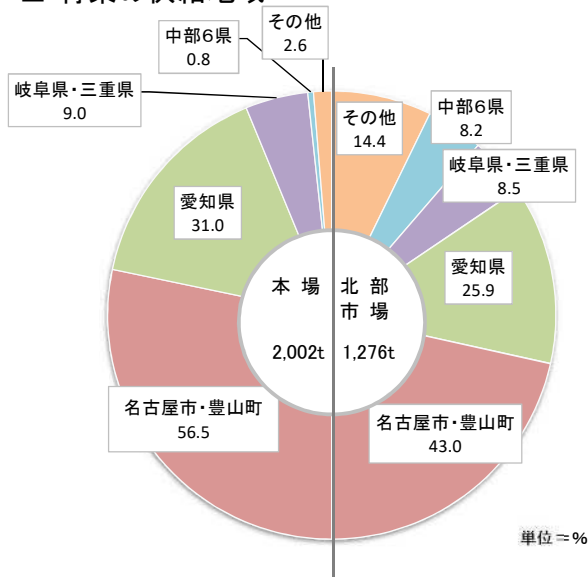


注: () 内数値は前回〔調査日: 青果・水産物 令和5年9月14日(木)、食肉 令和5年8月28日(月)~9月8日(金)〕

- 供給先業種の割合は、青果・水産物とも「大型小売店」の割合が最も高く、次いで「問屋」の順となっている。
- 食肉は、「問屋」の割合が最も高く8割弱となっている。

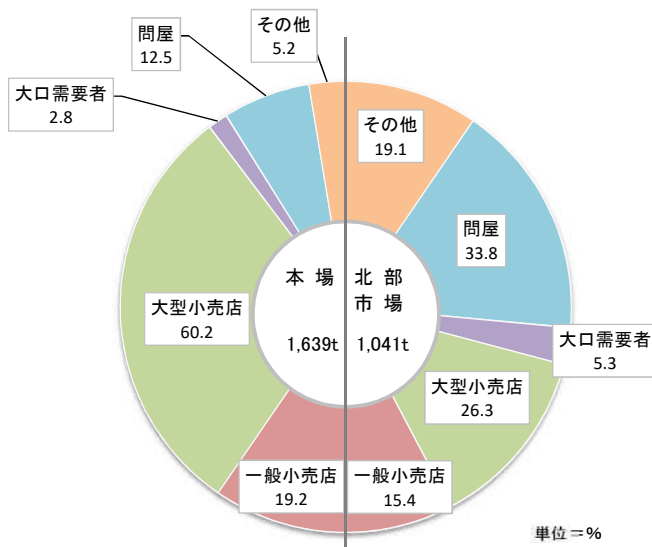
青果の市場別の供給先

■ 青果の供給地域



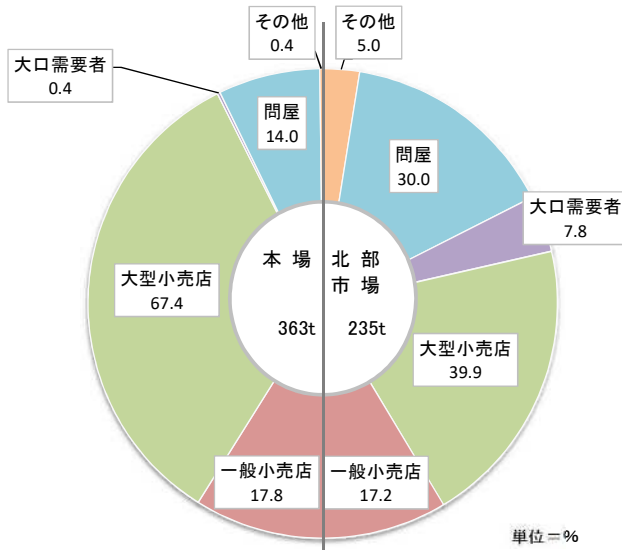
- 青果の供給地域の割合は、本場・北部市場とも「名古屋市・豊山町」が最も多く、次いで「愛知県」の順となっている。

○ 野菜の供給先業種



- 野菜の供給先業種の割合は、本場では「大型小売店」が6割を越えており、次いで「一般小売店」「問屋」の順となっている。
- 北部市場では「問屋」の割合が3割を超えており、次いで「大型小売店」「その他」の順となっている。

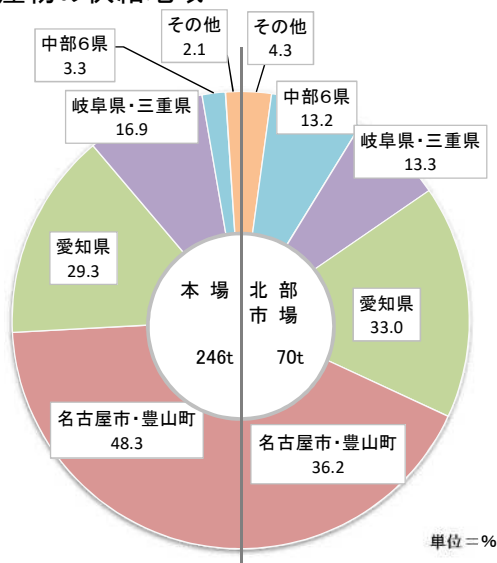
○ 果実の供給先業種



- 果実の供給先業種は、本場・北部市場とも「大型小売店」の割合が、最も高い。
- 本場では「大型小売店」の割合が7割弱を占めており、北部市場と比較して高くなっている。

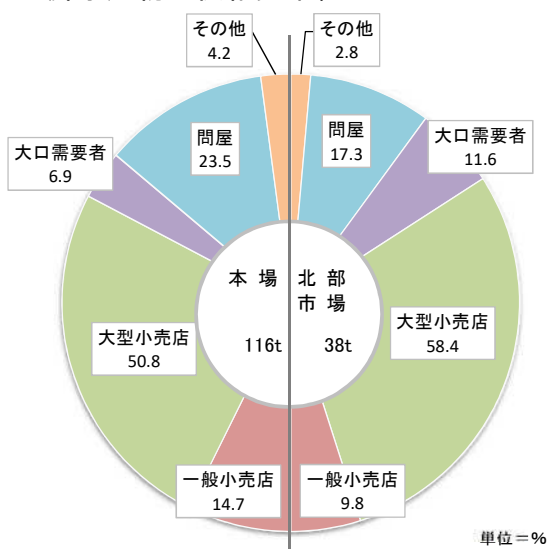
水産物の市場別の供給先

■ 水産物の供給地域



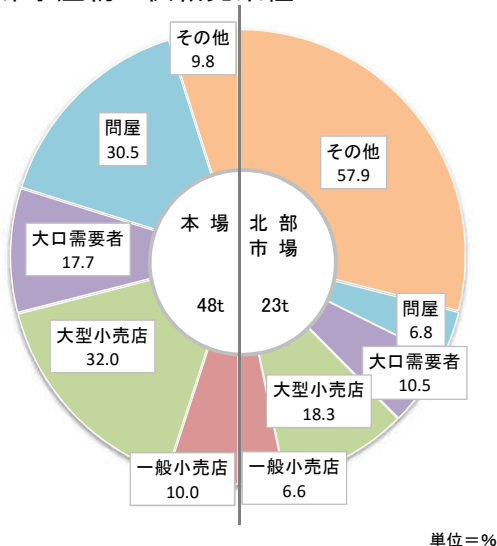
- 水産物の供給地域の割合は、本場・北部市場ともに「名古屋市・豊山町」が最も高く、次いで「愛知県」となっている。
- 「名古屋市・豊山町」と「愛知県」を合わせると、本場では8割弱、北部市場では7割弱を占めている。

○ 生鮮水産物の供給先業種



- 生鮮水産物の供給先業種の割合は、本場・北部市場ともに「大型小売店」が5割を超えており最も高い。

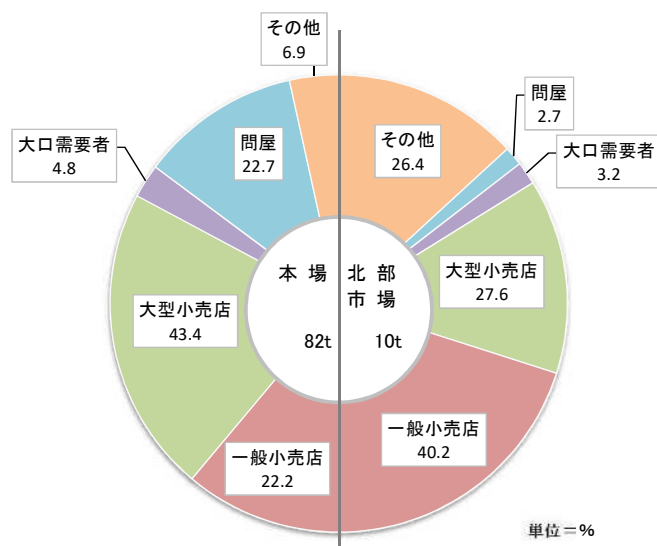
○ 冷凍水産物の供給先業種



- 冷凍水産物の供給先業種の割合は、本場は「大型小売店」が最も高く、次いで「問屋」となっている。
- 北部市場では「その他」の割合が最も高く、次いで「大型小売店」となっている。

水産物の市場別の供給先

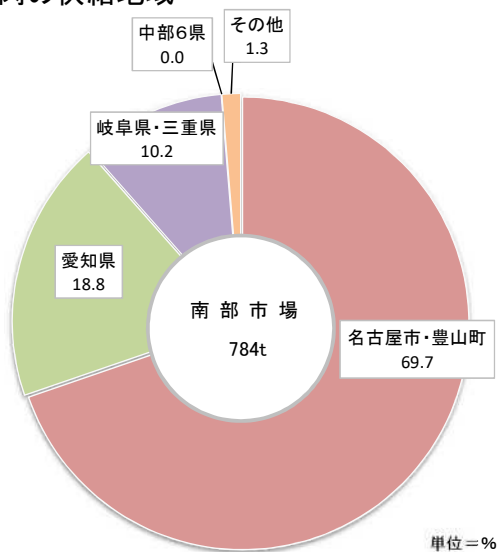
○ 加工水産物の供給先業種



- 加工水産物の供給先業種の割合は、本場は「大型小売店」が最も高く、次いで「問屋」「一般小売店」の順となっている。
- 北部市場は「一般小売店」が最も高く、次いで「大型小売店」「その他」の順となっている。

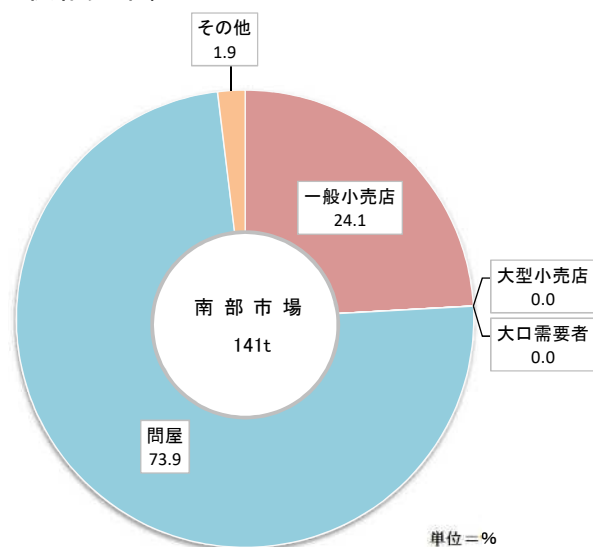
食肉の供給先

■ 食肉の供給地域



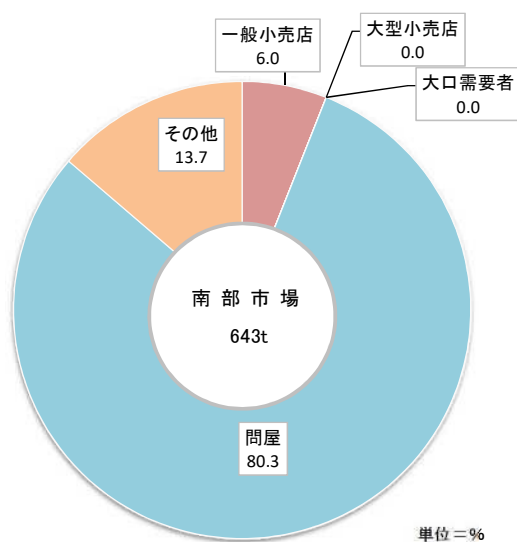
- 食肉の供給地域の割合は、「名古屋市・豊山町」の割合が7割弱を占めており、「愛知県」を合わせると9割弱を占めている。

○ 牛の供給先業種



- 牛の供給先業種は、「問屋」の割合が最も高く、7割を超えている。
次いで「一般小売店」で、2業種でほぼ全てを占めている。

○ 豚の供給先業種



- 豚の供給先業種は、「問屋」の割合が最も高く、8割を超えている。

名古屋市中央卸売市場流通量推計調査報告書（第14回）
令和6年12月 発行

編集・発行 名古屋市経済局商業・流通部市場流通課
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話（052）972－2439
Fax （052）972－4138